

# 教育委員会だより

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会の創り手となれるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介します。

## 令和4年度 大牟田市学校教育振興事業計画

教育委員会では、本市の学校教育の振興のため、今年度、重点的に取り組む事業を盛り込んだ計画を策定しました。

### 計画の趣旨

この計画は、本市の教育の振興に関する基本的な計画である「大牟田市学校教育振興プラン2020～2023」に基づき、毎年度策定しているものです。

今年度は、本市の教育における主な課題である、児童生徒の学力の向上や不登校の解消を目指した取り組みをはじめ、ESD(持続可能な開発のための教育)などの特色ある教育を推進します。

### 重点的に取り組む事業

今年度、重点的に取り組む事業は次の5つです。

- ◆「学びに向かう力」育成推進事業
- ◆スクールソーシャルワーカー活用事業
- ◆小中一貫教育推進事業
- ◆未来を創るESD推進事業
- ◆人権・同和問題啓発事業

これらのうち、「学びに向かう力」育成推進事業では、児童生徒一人ひとりの学力の実態に応じたきめ細かな指導を行うことで、学力の底上げを図るとともに、学ばざる意欲を高めていきます。

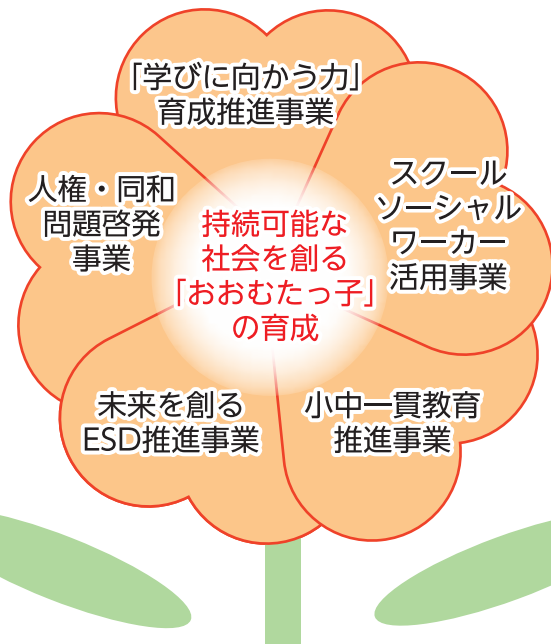
スクールソーシャルワーカー活用事業では、スクールソーシャルワーカーが持つ専門的な知識や技術を活用して、問題を抱える児童生徒や保護者を支援したり、学校の相談体制を支援することで、不登校を生まない、安心して登校できる学校づくりを進めます。

小中一貫教育推進事業では、市立の小・中学校に、順次、小中一貫教育制度を導入し、義務教育9年間を見通した系統性・連続性のある指導により、児童生徒の学力向上や心身の健全な育成、中学校生活への不安感や不登校の解消を目指します(左のページでも紹介しています)。

また、今年度の重点事業には、本市の教育の特色である、未来を創るESD推進事業や、一人ひとりの人権が尊重される社会を目指し、人権・同和問題啓発事業があります。

さらに、重点事業以外にも、タブレット端末を活用したオンライン授業や家庭学習などのICT教育の推進、防災・減災教育の推進、夜間中学の設置検討などに引き続き取り組めます。

今年度は、このような事業を着実に進めることで、持続可能な社会を創る「おおむたっ子」を育成していきます。



子どもたちが自分の夢や目標に向かって意欲的に学ぶ力を育成します

## 教育委員に木場真帆さんが就任



木場真帆委員

笹井葉子委員が任期満了で退任し、新たに木場真帆さんが委員に就任しました（6月1日付）。

### 【主な経歴】

昭和60年3月  
第一保育短期大学卒業  
昭和60年4月～平成12年3月  
学校法人阿津坂学園明治幼稚園  
平成16年4月～17年12月  
玉川小学校図書事務

### 【木場真帆委員からひとこと】

「教育とは人づくり」と考え、幼児教育に関わってきました。

保護者代表として、教育委員の職責への深い自覚と使命感を持ち、子どもたちが健康で仲良く、安心・安全に、笑顔絶やさず過ごせる環境づくりに積極的に意見を述べ、本市の教育の振興のためにお役に立ちたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 中学校区全体で児童生徒の学びを支える

### 〈小中一貫教育制度の導入を進めます〉

教育委員会は、令和4年3月に「大牟田市小中一貫教育基本方針」を策定しました。今後、順次、全ての中学校区に小中一貫教育制度の導入を進めます。

### 制度導入の趣旨・目的

小中一貫教育制度では、小・中学校の教職員が、教育目標と目指す児童生徒像を共有し、義務教育9年間を見通した教育課程（カリキュラム）を編成し、系統的・連続的な指導を行います。

制度導入により、児童生徒の学力向上や不登校の解消などを指すとともに、校区の小・中学校がより密接な関係を築き、教育内容や活動の充実を図ることで、教職員の指導力の向上を図ります。

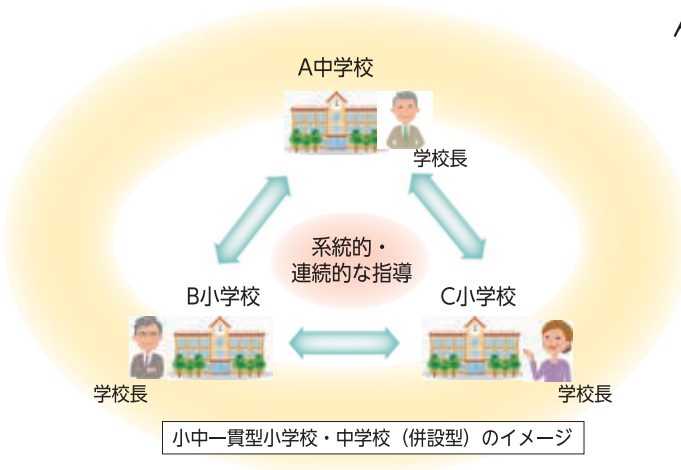
さらに、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と地域学校協働活動を一体的に実施し、学校・家庭・地域の「つながり」を深め、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を推進します。

今後、中学校再編のスケジュールに合わせ、令和5年度から順次、全ての中学校区に制度を導入し、原則として小中一貫型小学校・中学校（併設型※）とします。

◆令和5年度 宮原中学校区  
◆令和7年度 松原・宅峰中学校区  
◆令和9年度 白光・歴史・橋中学校区

また、円滑に制度を導入できるように、導入の2年前から、教育課程の編成をはじめ、児童生徒や教職員の交流などの試行を進めていきます。

※「併設型」では、現在の小・中学校の位置や教職員組織は変更しません。



## 宮原中学校区の取り組み

宮原中学校区では、制度導入の試行の2年目である今年度、既存の学校施設を活用しながら、さまざまな取り組みを進めています。

その一環として、5月に、宮原中学校1年生が自分の出身小学校に向いて小学校6年生と交流する「ようこそ！先輩」を実施しました。中学校1年生が学校の様子や勉強の仕方、部活動などについての小学校6年生の質問に答えたり、一緒にレクリエーションを楽しんだりしました。

今後、このような交流などを通して、子どもたちが小学校から中学校へ不安なく進めるようになっていきます。



3月まで同じ小学校に通っていた先輩が中学校生活について説明してくれました

■問合せ 教育委員会事務局総務課  
教育みらい創造室（☎412867）